

平成26年5月の「大阪森林便り」

住宅用木材、下落増える 北米産丸太は4月2%安

着工減で買い付け鈍る



住宅用木材で値下がりする品目が増えてきました。北米産丸太の4月積み対日価格は前月比2%安。国産丸太の製材品も6%下がりました。

住宅着工の減少傾向から木材の買い付けが鈍っています。消費税率引き上げ前の5%が適用される昨年9月までの契約分の住宅着工も進んでおり、資材の調達を抑える動きが広がりそうです。

(2014年4月5日 日本経済新聞記事から抜粋)

「森の茶室」展示 — 紀陽銀行の本店 紀州材をPR




紀陽銀行が、歌山市内の本店ロビーで、紀州材を使った「森の茶室」の展示を始めました。和歌山木材協同組合の打診を受け、地元貢献の一環として設置しました。

(2014年4月8日 日本経済新聞記事から抜粋)



木材から樹脂 石油代替に道

住友ベークライト 車部品に 三菱化学 合成皮革向け

 木材から自動車部品や合成皮革などに使う樹脂を開発する成果が相次いでいます。

こうした化学品の多くは石油から作られていますが、木材に代替できれば原料の調達先が増えます。温暖化対策などにもつながる可能性もあります。バイオマス（生物資源）を石油の代わりに使う取り組みに弾みがつきます。

（2014年4月21日日本経済新聞記事から抜粋）

